

H28公共事業事前評価調書

評価調書作成者 [道路整備課長 上野 晋也]

事業プロフィール

【事業概要】

事業名	一般県道今吉野甲佐線(田口工区)防災・安全交付金事業
事業箇所	上益城郡 甲佐町 田口
事業担当課(室)	土木部 道路都市局 道路整備課 (県道班 内線6114)
事業期間	平成29年度 ~ 平成37年度 (9年間)
総事業費	480百万円 (うち県費 192百万円)
事業内容	延長1,100m 道路改築
事業目的	<p>一般県道今吉野甲佐線は、熊本市南区城南町の国道266号を起点とし、甲佐町有安の国道443号に至る道路であり、主に地域住民の生活道路として利用されている道路である。</p> <p>本工区は、歩道がなく幅員狭小の交通隘路区間となっている。</p> <p>このため、安全安心な交通環境及び円滑な交通を確保するため、道路整備を行うものである。</p>

【現況写真】



(現在の状況)

本箇所は、幅員狭小のため、車両の離合が困難な状況である。また、歩道もなく車両及び歩行者の安全で円滑な通行に支障をきたしている。

【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	本箇所を整備することにより、歩行者及び車両の安全で円滑な通行が確保できるとともに、地域の利便性が向上する。
事業比較 〔 事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む) 〕	事業を実施しない場合、歩道がなく幅員狭小であるため、歩行者及び車両の安全及び円滑な通行が確保できない。 道路改良計画については、事業効果の早期発現に優れた現道拡幅案を基本とした。
パートナーシップ ユニバーサルデザイン への配慮事項・内容	「熊本県の道路に関するユニバーサルデザイン指針」に基づき、地域の意見を反映させ、全ての人々が利用しやすい道路とする。
関係法令等の手続き の把握・完了状況	道路法に基づく交通管理者との協議が必要。 本区間内に周知の埋蔵文化財包蔵地(沈目五山)が存在しているため、文化財保護法に基づく届出及び調査が必要。

【 周辺状況 】

関連事業	特になし。
市町村、地元の状況	当該路線は、地域住民の生活道路としての利用に加え、周辺には九州縦貫自動車道の「城南スマートインターチェンジ(仮称)」が整備されており(平成29年6月供用予定)、新たな開発へのアクセス機能も担っているため、地元より早期の改良要望を受けている。
説明会の開催状況と関係者の意向	現在、関係機関との協議を実施中であり、協議後に説明会を開催する予定である。

【環境影響】

緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

地形・自然景観への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。 <small>(埋蔵文化財への配慮を要する地域であることから、平成28年12月に県文化課と埋蔵文化財確認調査(トレンチ調査)の一部を実施、今後も継続して確認調査を行う。)</small>	有 (配慮する)
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無

事業評価

: 共通指標

【事業評価表】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	事業計画の位置付け	5	4
	市町村合併支援	5	0
	小計	10	4
必要性	特定地域振興	5	3
	公共施設へのアクセスの向上	20	20
	生活利便施設へのアクセス向上	15	15
	救急施設等へのアクセス向上	5	0
	公共交通等の充実	5	5
	小計	50	43
緊急性	安全性の向上	25	20
	歩行の安全性の向上	5	5
	連携する他事業	5	0
	小計	35	25
効率性	費用便益比(B/C)	5	5
	小計	5	5
合計		100	77